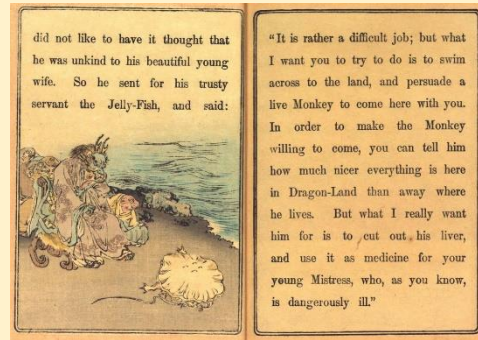


海外邦字新聞DBよりサンフランシスコで発行された日本語新聞『日米』。99年前の今日1919年6月21日発行の紙面には建築家W.ヴォーリズ(1880-1964)・満喜子夫妻の結婚式の記事が。当時の東京での挙式の様子が詳細に記されている。(6/21投稿)



明治期に外国人向けに作られた「縮緬本」を紹介する「ちりめん本DB」より“The Silly Jelly-Fish”。龍王の命で猿の生肝を求め、奮闘するくらげさんです。手足も骨もありますが、この後作戦失敗により、骨のなくなるまでぶたれてしまうのでした…(7/18投稿)



平安時代中期の公家日記等の訓読文が検索閲覧できる「撰関期古記録DB」。夏の特徴的な雨「夕立」をキーワード検索すると、『御堂関白記』の閏六月、七月、八月の記録にも「雷声有りて夕立す」「日々夕立あり」など多くの記載が見られます。(8/9投稿)



「風俗図会DB」より「髪切の奇談」。夜、厠に起きたお女中が「真黒なるもの」に襲われて気絶、起きた時にはまげが切られていたそうです…「猫の如くにして恰も天鷲絨のごとなりし」という本文を裏切る、黒ムックのような化物が見ものです。(9/27投稿)



1900～40年代発行の朝鮮絵はがきが検索・閲覧出来る「朝鮮写真絵はがきDB」より、夜の京城の様子が分かる一枚を。静けさ漂う日没後の商店街では、雨上がりと思しき道をショーウインドウの光が柔らかく照らします。キーワード「夜景」で検索。(10/24投稿)



明日の日文研一般公開では、お子様連れの方も楽しめる企画として『ようかいぬりえコーナー』をデータベース紹介ブースに設置します。絵巻物に出てくる妖怪たちに、自由に色を塗ってみて下さい!※場所・時間:さつきホール 10時～16時! (11/22投稿)
<http://kikyo.nichibun.ac.jp/emakimono>



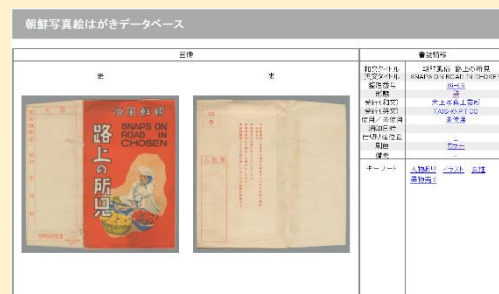
「平安京都名所図会データベース」は日文研が所蔵する江戸から明治期にかけての京都を描いた「名所図会」史料の高精細画像データベースです。『都名所図会』巻之一より三条大橋、『都林泉名勝図会』巻之二より南禅寺前湯豆腐店を紹介します。(12/26投稿)



風俗図会DBより、歌川国芳画[大物浦難風之図]。大物浦(だいもつのうら)から船出する源義経一行が、荒波と平家の亡霊に行く手を阻まれる場面を描いた浮世絵。凛々しい義経と弁慶に対して、どこか楽しげな亡霊たち。襲いかかるカニにも注目。(3/27投稿)



絵巻物DBより、百鬼夜行ならぬ『百鬼晝(=昼)行図』。日本画家の平福百穂が、明治大正期の雑誌『学生』の訓話記事に寄せた挿絵を巻物に仕立てたものだそうです。こんなとぼけた化物たちが添えられた訓話とは、どんなものだったのでしょうか。(1/23投稿)



(朝鮮写真絵はがき)お土産として喜ばれた絵はがきセットは名所や風俗を描いた袋も魅力のひとつ。鮮やかで多様なデザインが目を惹きます。そのまま封筒として送れるものや旅行案内が書かれたもの等、工夫が見られます。検索...形態:袋を選択。(2/27投稿)

SNSで紹介しました

